

篠田桃紅美術空間からのお知らせ

関ゆかりの工芸作家展

【照会先】篠田桃紅美術空間（市役所7階） ☎23-7756

関市にゆかりのある工芸作家を紹介する展覧会「関ゆかりの工芸作家」展は、今月26日（日）まで開催しています。今回紹介をしている7人の工芸作家は、それぞれ異なった分野で活躍し、日本近現代の工芸史に大きな足跡を残しています。



染織 土屋 順紀 (1954 —)

関市生まれ。市内に工房を構える。地元の山野から採取した草木で染めた色鮮やかな絹糸で、紋紗、生絹を織る。2010年、「紋紗」で人間国宝に認定される。



陶芸 西 功一 (1948 —)

武儀村（現・関市）に生まれる。加守田章二の作品に感銘を受け、陶芸をはじめ。練上の技法に取り組む。国内外の公募展で受賞を重ねる。



刀匠名：兼國
武芸川町に生まれる。86年、父・尾川兼國に入門師事。91年作刀承認を受ける。

関鍛冶 尾川 光敏 (1953 —)



刀匠名：兼信
加茂郡に生まれる。73年、父・丹波兼延に入門師事。80年作刀承認を受ける。

関鍛冶 丹羽 清吾 (1953 —)



刀匠名：兼久
加茂郡に生まれる。73年、父・吉田政夫（刀匠名：正明）に入門師事。その後、叔父・大野正巳（刀匠名：兼正）に師事。91年作刀承認を受ける。

関鍛冶 吉田 研 (1950 —)



染色・革工芸 大坪 重周 (1899 — 1998)

鳥取県鳥取市に生まれる。1930年第11回帝展に染色作品「向日葵を主題とする衝立」初出品初入選する。晩年の4年間を関市で過ごす。



金工 河合 寿成 (1902 — 1982)

岡山県児島郡（現・岡山市）に生まれる。46年、関刃物（株）に勤務する傍ら、金工作品を制作。日展を中心に作品を発表。

ひとひと
女と男

ともに自分らしく生きよう

男女共同
参画社会



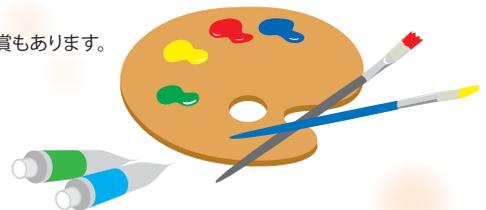
vol.95 男女共同参画社会づくり小中学生図画・ポスターコンクール!

市では、夏休みを利用して「男女共同参画」について小中学生の皆さんの理解を深めてもらうため、ポスターコンクールを実施します。

今回は「おもいやり」をテーマに募集します。「家族や友人、地域の人などに対する思いやり」について、自由に表現してください。お互いの個性を認め、思いやりを持つことで、みんなが参画できる社会をつくりましょう。

- ◆応募規定 画材は自由。大きさは四つ切り画用紙（縦横自由）。
- ◆作品取扱 応募作品は、市の男女共同参画推進事業の啓発活動に使用。また、12月16日（日）開催の市民フォーラムで表彰します。※応募作品は、返却しません。
- ◆入賞作品 最優秀賞 1人・図書カード2,000円
優 秀 賞 10人・図書カード 500円 ※参加賞もあります。
- ◆応募締切 9月5日（水）までに、学校へ提出
- ◆その他 作品は、自作・未発表のものに限る

夏休みを利用して、親子で「おもいやり」について話し合いながら、ポスターづくりに取り組んでみませんか。



照会先 さんかくサポーター事務局（市民協働課内） ☎23-6831